

令和4年度 事業報告書

1. 講座事業

(1) 春秋記念講座

◆春季講座（第142回）・・・Zoomによる完全オンライン開催。当日の内容は録画し、後日配信する。

総合テーマ：「仏教が塗りかえる古代東アジア史像」〈参加者数：64名〉

◇日時：2022年6月25日（土）13：30～16：45

【第一部】13：30～15：00 テーマ：「隋～初唐の仏教と皇帝」 講師：河上麻由子先生（大阪大学准教授）

【第二部】15：15～16：45 テーマ：「隋～初唐の長安における仏教造像」 講師：藤岡穰先生（大阪大学教授）

◆秋季講座（第143回）・・・Zoomによる事前録画を行い、期間限定で受講申込み者に公開する。

総合テーマ：「足利学校と懐徳堂」〈参加者数：52名〉

【講演】

テーマ：「江戸時代の足利学校」 講師：大澤伸啓先生（史跡足利学校学芸員）

テーマ：「懐徳堂の講義と蔵書」 講師：湯浅邦弘先生（大阪大学教授）

【対談】

「足利学校と懐徳堂」大澤伸啓先生・湯浅邦弘先生

(2) 古典講座 〈参加者：数延べ：430名〉

◆コース（A～D：全4コース）

・全コースZoomによるオンライン開催。

・1コース8回（前期4月～7月、後期9月～12月）、講義時間は1回90分。

・BコースおよびCコースはリレー講座。

コース	コース名 ・ 講師名	回数・時間・年数
A	続『平家物語』の名場面を能で読む 中尾薫先生（大阪大学准教授）	全期8回 10：30～12：00 2年目
B	漢文入門 4月・5月：「乱世に学ぶ智慧—『孫子』と『戦国策』—」 清水洋子先生（福山大学准教授） 6月・7月：「人間の本性とは—『孟子』と『荀子』—」 竹田健二先生（島根大学教授） 9月・10月：「道家から見た孔子—『老子』『列子』『荘子』—」 藤居岳人先生（阿南工業高等専門学校教授） 11月・12月：「唐宋の詩—蘇軾・陸游を基点として—」 浅見洋二先生（大阪大学教授）	全期8回 13：30～15：00 1年目
C	『日本書紀』継体紀を読む 4月：「継体天皇の即位事情」 若井敏明先生（関西大学等非常勤講師） 5月：「今城塚古墳出現までの道のり」 上田直弥先生（大阪大学埋蔵文化財調査室助教） 6月：「継体朝の外交政策を探る」	全期8回 18：00～19：30 2年目

	市大樹先生（大阪大学教授） 7月：「武寧王陵と朝鮮半島の前方後円墳」 高橋照彦先生（大阪大学教授） 9月：「磐井の乱とその影響」（市先生） 10月：「畿内と九州の古墳文化」（上田先生） 11月：「継体陵・今城塚古墳とその関連古墳」（高橋先生） 12月：「継体天皇の死とその後」（若井先生）	
D	『愚管抄』を読む—武家政権の歴史：保元の乱から承久の乱まで— 川合康先生（大阪大学教授）	全期8回 13:30～15:00 1年目※再開（H27～H30年）

(3) 法人講座（第5回）…依頼がなかったため実施せず

(4) アーカイブ講座（第16回）…新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず。

2. 刊行事業

- (1) 雑誌『懐徳』91号（2023年1月31日）刊行
- (2) 会報「記念会だより」No. 121（2022年4月）No. 122（2022年9月）No. 123（2023年2月）刊行

3. 調査事業

- (1) 西村天囚関係資料の調査…例年実施している現地調査は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止。先に寄託を受けた資料に関して調査を行う。
- (2) 懐徳堂創設300周年事業に向けての懐徳堂文庫貴重資料の調査
- (3) 重建懐徳堂開学当初の資料の電子化…重建懐徳堂開学当初（大正6年頃）の証憑書類を電子化。
- (4) 『懐徳』電子化事業について…雑誌『懐徳』に掲載された論文・記事・資料の電子版を、大阪大学機関リポジトリ OUKA（桜華）<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/>に掲載。現在、創刊号（大正13年刊行）～21号（昭和18年刊行）まで掲載済。

4. 広報事業

- (1) ホームページの更新
- (2) Twitter・Facebookの更新

5. 研究助成事業（第33回）…応募がなく実施せず。

令和4年6月3日（金）募集締切（必着）。

6. 懐徳忌（第37回）…新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず。

7. その他

【講師派遣事業】

◇孫氏の兵法を現代に生かす/湯浅邦弘先生（大阪大学教授）

◇若沖について/門脇むつみ先生（大阪大学准教授）

芦屋市立公民館より依頼

以上

※以上事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。